

- **行動変容の実装**：神戸弁「ええやん」「しゃーない」を用いた衣料品分別BOXの導入で衣料品廃棄への心理的ハードルを低減して行動変容を促進
- **産官学連携体制**：企業・行政・学生によるコンソーシアムの構築、学生が企画から参画することで若年層への訴求力と環境教育効果を最大化
- **完全循環への実証**：回収品のリユース83%、残る17%のリユース不可品を資源として活用、焼却・埋立ゼロ (Zero Waste)モデルを提示
- **インフラの常設化**：イベント時だけではなく商業施設など生活動線上に常設拠点を設置し日常的な回収習慣を定着させる
- **循環の可視化とシビックプライド**：回収した服が地域のエネルギーになる過程を可視化し、「自分達の街を動かしている」という神戸市民の誇りを醸成
- **リユース不可の明確な出口**：海外に送らない (国内完結)、完全トレース (透明性)、燃やさない (再資源化) を遵守した信頼性の担保

事業の全体像

■ 回収方法：

- OPA館内・三宮センター街に「自主分別促進回収ボックス」設置。
- 三宮オーパ2 イベントスペース・三宮センター街等で学生主体の「服の循環マーケット」を開催し、イベント来街者から直接回収。



取組の様子



写真はイベント告知の内容及び、三宮センター街の回収BOX設置の様子

取組の成果

モノを大切にすることを育む教育的な側面も担った。これらの体験は、参加者に対し、リユース・リサイクル・リデュースの3Rは義務ではなく、創造的で楽しい活動であることを印象付け、意識変容を促す重要な要素となった。

消費者自らが【ええやん】【しゃーない】に分別し、衣料品廃棄について考える行動変容は市民が能動的に参加できる社会インフラにつながる。



リユース不可でどうしても廃棄から焼却処理になるものの第三の出口として、再エネルギー化があることを知らせることができた。

カテゴリ	BOX区分	回収実績数 (枚)	構成比	処理ルート
リユース	ええやん	2,546枚	83%	リセール交換会
リサイクル 水素化原料	しゃーない	529枚	17%	ガス再エネルギー化 CO ₂ 削減効果